

## 膵癌術後早期再発因子としての Platelet-lymphocyte ratio の検討

### 1. 研究の対象

2005年10月1日から2019年12月31日の間に当院で外科的切除術を施行し、病理学的に膵癌と診断された方 94例

### 2. 研究目的・方法

切除可能な膵癌の標準的な治療は、根治的な切除手術の後半年間の抗癌剤治療を行います。しかし、手術後の抗癌剤治療中に再発する患者さんもいらっしゃいます。今回膵癌の手術後半年以内の再発を予測する理由のひとつとして、特に栄養状態を調べるのに用いる血小板・リンパ球比 (Platelet-lymphocyte ratio, PLR) に着目をして、PLRが膵癌の手術の後6ヶ月以内に再発を予測する理由のひとつとなるかを検討します。当院電子カルテを使用して対象となる患者さんの情報を収集します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報録上に記載された手術関連情報（年齢、性別、BMIなど）、術前採血検査結果、術前画像検査結果、術後無再発生存期間、術後生存期間など

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器外科 木内亮太

住所：磐田市大久保 512-3

電話番号：0538-38-5000（代表）

研究責任者：上記